

CNCスウェーピング マシンのパイオニア

株式会社 ジャロック

福井県
福井市下河北町22-1

1970年(昭和55年)設立
TEL 0776-38-6500

<http://www.jaroc.co.jp>



代表取締役
武澤 清則

地場産業の眼鏡部品機械の技術を自動車部品に応用、新分野展開。

世界初のCNCスウェーピングマシンを開発

創業者が金属製パイプを引っ張りながら口径を縮める「スウェーピング」技術を使い、地場産業である眼鏡フレームに使う鉄やチタン製の部品などを加工する機械を製造する鉄工所として設立した。1981年世界初のCNCスウェーピングマシンJAROC-ACE SW-8003を開発した。切粉を出さないため、材料歩留まりが良く眼鏡部品メーカー向けを中心に販売実績を伸ばした。

自動車部品への展開で飛躍

CNCスウェーピングマシンの有する、精度が良く寸法調整が容易、加工硬化による部品強度がアップ、中空化による部品の軽量化等の特長を活かし、自動車部品の製造装置の生産を手がけ、自動車部品メーカーを中心に販売実績を伸ばしている。

技術開発で更なる躍進

現在のスウェーピング技術を応用し、多角形加工や、外径φ0.3mm以下の細径加工、また、異形線加工の開発に取り組んでいる。

JAROC ACE SW-30

